

来月の消費予報

ボーナスシーズンの7月。

消費意欲は前年同様高いものの、中身はより堅実なものに

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらいなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

7月の消費意欲指数は48.6点。前月比+2.7ポイント、前年比-0.1ポイントと、ほぼ前年並みとなりました。

7月の消費意欲指数



【前月比】

+2.7 ポイント

【前年比】

-0.1 ポイント

■：前月比／前年比で上昇 ■：前月比／前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか？」と質問。

カテゴリー別 消費意向

【前月比】



【前年比】



★ UP：前月比／前年比で20人以上増加 ● DOWN：前月比／前年比で20人以上減少

「来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか？」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月／前年と比較して作成。

7月のポイント

Point 1：消費意欲指数は前年並み。消費意欲の高まりは必需品が中心

本格的なボーナスシーズンを迎える7月は、例年消費意欲指数が上昇する月です。今年も前月比+2.7ポイントと前月から大きく伸び、前年同様に高い消費意欲指数となりました。特に男性では今年の最高値となっています(46.9点)。

ただ、消費意欲指数の理由(OA)をみると、「ボーナスがあるので意欲が高まる」という声が前年より減少(18年7月95件→19年7月75件)したほか、「服が欲しい」という声も減少しています(2019年7月63件→2019年7月49件)。

なお、特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合は前年より増えています(前年比+2.7ポイント)。その内訳をみると、「食品」「飲料」「日用品」「旅行」「家電・AV」「書籍・エンタメ」の6項目で前年から20件以上増加しており、特に「食品」(前年比+61件)「飲料」(前年比+40件)「日用品」(前年比+27件)といった必需品の増加が目立ちます。消費意欲指数は前年並みに高いものの、その中身は堅実なものとなりそうです。

Point 2：「消費税増税前に買いたい」という声が増加

消費税増税を理由に「消費を抑えたい」という声は、今年2月以降20件程度で推移しています(直近3か月では2019年5月19件→2019年6月13件→2019年7月19件)。一方で、今月になって「増税前に買いたい」という声が増加しました(2019年5月5件→6月3件→7月18件)。

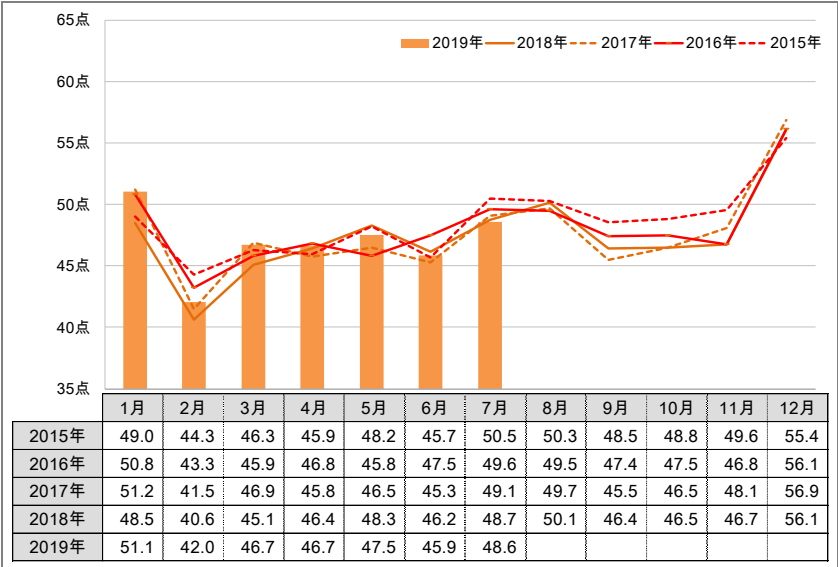
消費税増税を理由に「消費を抑えたい」という意識に加えて、「増税前に買えるものを買っておきたい」という意識も現れはじめたことで、Point1で触れた堅実な消費意欲に結びついているのかもしれない。

消費意欲指数

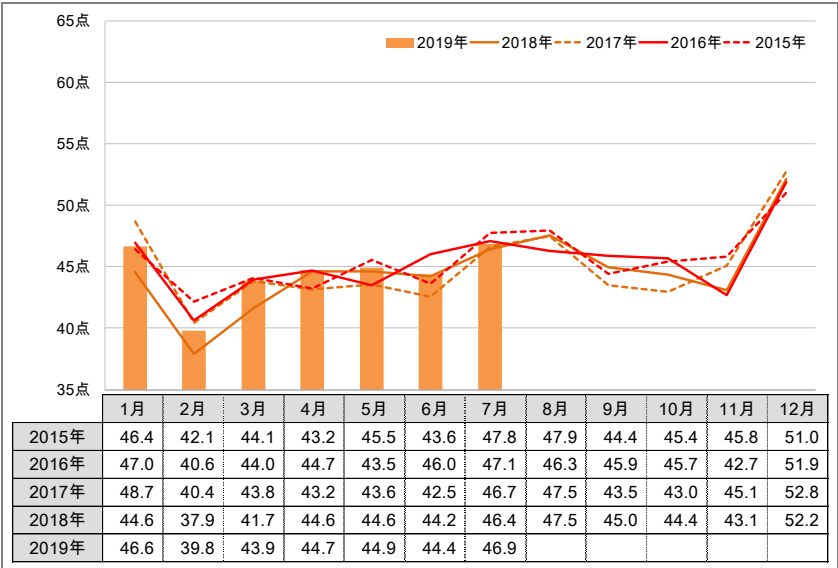
時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

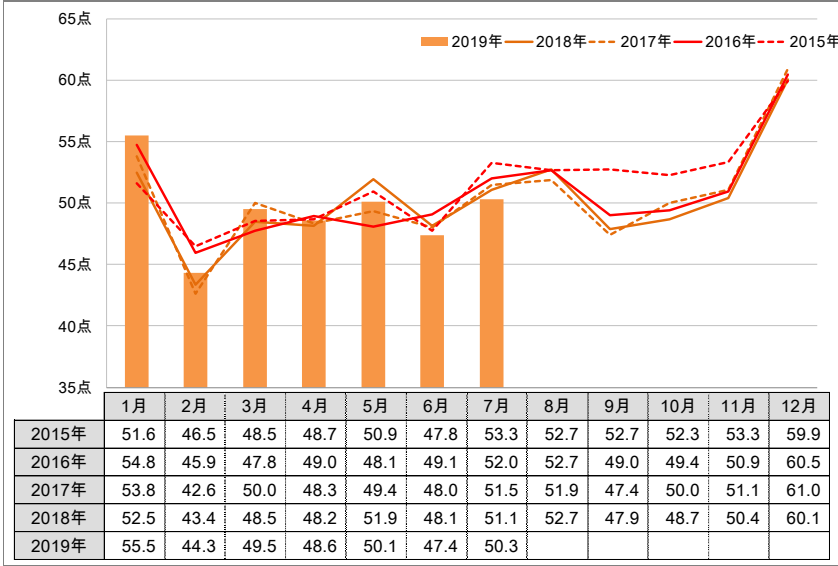
【全体】



【男性】



【女性】



消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【夏休み・季節の変わり目などの季節消費への意欲が高まる】>

・夏なのでレジャーや花火など行きたいところがたくさんあり消費意欲はあるが、10月から消費増税が控えておりあまりたくさん使いたくはないので(70点・男性26歳・岐阜県)

・夏は開放的な気分になりがちで、ボーナス後ということもあり購買意欲が高まるため(80点・男性36歳・大阪府)

・夏場なので飲み物代とエアコン代に消費がかさむので(70点・女性47歳・大阪府)

・夏休みなので旅行に行くつもり(90点・女性56歳・愛知県)

・暑くなるので、ピヤガーデンなど外での飲食が多くなる(90点・男性69歳・岐阜県)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【消費税増税前に買いたい】>

・増税前なのでいろいろ買い換えようと検討中だから(90点・男性38歳・大阪府)

・欲しいものがそんにあるわけではないが、消費増税の前に買えるものは買っておこうと思うから(60点・男性45歳・岐阜県)

・消費税増税前に エアコンやテレビの買い替えを検討するため(80点・女性54歳・埼玉県)

・10月に消費税増税があるので、高額な商品を買おうと思っている。(90点・男性57歳・埼玉県)

・消費税が上がる前に買いたいため(90点・女性67歳・神奈川県)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある／ない)

	2019年7月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	31.0	+4.5	+2.7
男性	29.4	+5.4	+1.9
女性	32.6	+3.5	+3.5

買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(465人)

参考:男性 (222人)

参考:女性 (243人)

順位	カテゴリー	7月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	238	+11	+ 3
2	食品	191	+51	+61
3	外食	186	+31	+ 8
3	旅行	186	+55	+26
5	飲料	153	+43	+40
6	レジャー	139	+25	+16
7	家電・A V	125	+23	+22
8	書籍・エンタメ	114	- 3	+21
9	化粧品	113	+14	+17
10	日用品	98	+18	+27
10	理美容	98	+11	+16
12	装飾品	76	+ 9	+ 5
13	インテリア用品	65	+ 5	+ 8
14	車・バイク	54	+ 7	+ 8
15	パソコン・タブレット・周辺機器	49	- 3	-10
16	スマートフォン・携帯電話	44	+12	+11

順位	カテゴリー	7月 (人数)	前月比	前年比
1	旅行	97	+29	+23
2	ファッション	90	+10	+ 3
2	外食	90	+19	+16
4	食品	80	+24	+18
5	飲料	76	+27	+15
6	書籍・エンタメ	69	+12	+14
7	家電・A V	68	+20	±0
8	レジャー	62	+10	+ 1
9	車・バイク	46	+ 8	+ 8
10	パソコン・タブレット・周辺機器	34	- 3	-14
10	日用品	34	+ 8	+14
12	装飾品	33	+ 9	+ 3
13	スマートフォン・携帯電話	32	+12	+ 8
14	理美容	31	+11	+12
15	インテリア用品	30	+14	+ 9
16	化粧品	12	- 1	±0

順位	カテゴリー	7月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	148	+ 1	±0
2	食品	111	+27	+43
3	化粧品	101	+15	+17
4	外食	96	+12	- 8
5	旅行	89	+26	+ 3
6	飲料	77	+16	+25
6	レジャー	77	+15	+15
8	理美容	67	±0	+ 4
9	日用品	64	+10	+13
10	家電・A V	57	+ 3	+22
11	書籍・エンタメ	45	-15	+ 7
12	装飾品	43	±0	+ 2
13	インテリア用品	35	- 9	- 1
14	パソコン・タブレット・周辺機器	15	±0	+ 4
15	スマートフォン・携帯電話	12	±0	+ 3
16	車・バイク	8	- 1	±0

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

<全体にのみ下記基準で色付け>

：前月比/前年比で20人以上増加

：前月比/前年比で20人以上減少

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある／ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要	生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。
調査地域	①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏
調査対象者	20～69歳の男女
対象者割付	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付
サンプル数	合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	124	147	190	154	140	755
女性	119	143	186	150	147	745
合計	243	290	376	304	287	1,500

調査方法	インターネット調査
調査時期	2019年6月6日(木)～10日(月)(2012年4月から調査開始／毎月上旬に実査)
調査機関	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

<備考>
「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先	株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河・佐香) TEL.03-6441-6450 株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161
データ公開	本調査のデータは、生活総研のホームページ(https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2019-07/)からダウンロードしていただけます